

全国でも珍しい火祭り 「タバンカ祭」



■発行/下妻市・市長公室秘書課 ☎0296-43-2111
〒304-8501 茨城県下妻市本城町2-22
■印刷/坂入印刷所

■URL <http://www.city.shimotsuma.lg.jp/>
■E-mail info@city.shimotsuma.lg.jp
広報しもつまは、資源保護のため再生紙を使用しています。



第24回 しもつま砂沼 フェスティバル 2014 10/18(土)19(日)開催 下妻砂沼サンビーチ



市民交流広場

市民ステージ・事業所広場・官公庁広場
チャレンジショップ・観光物産PR・観光PR
いばらき都市緑化フェスティバル・消費生活展
アイバンク・腎バンクキャンペーンetc



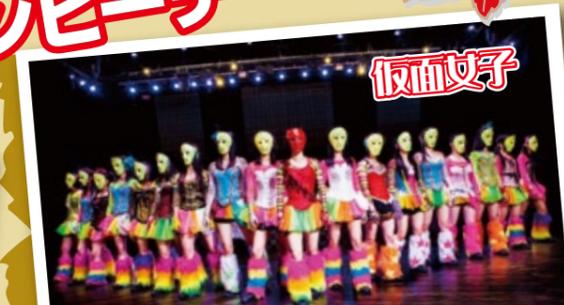
農畜産まつり

畜産物消費拡大コーナー
手作り加工品販売コーナー
野菜・果物即売コーナー・米消費拡大コーナー
特産品即売コーナーetc



商工まつり

青空市・ちびっこ広場
女性部模擬店
渚のモーターショーetc



砂沼フレンドリー フェスティバル

19日(日)
開催

しもんchu・東京Hack・オニツカサリ・新桐舞
それいけ!アンパンマン ショー
エイサー・SFF杯テニストーナメント・キックターゲット
キッズ体験コーナー・赤ちゃんハイハイ競争
大ピンゴ大会・ロリータファッション試着体験
東京直結鉄道建設誘致PR etc

陸上自衛隊中央音楽隊演奏会

19日(日)12:00~ メインステージ



キャンドルナイト
18日(土) 17:00~
多目的広場
砂沼ソニック2014
茨城Beer-17フェスト
19日(日) 10:00~
多目的広場

●主催/しもつま砂沼フェスティバル実行委員会 ●共催/下妻市
●協力/下妻市商工会・JA常総ひかり・下妻市観光協会・下妻市観光物産会
下妻市商店会連絡協議会・砂沼フレンドリーフェスティバル実行委員会
下妻青年会議所・常総工事事務所
●問合せ先/下妻市役所産業振興課
☎0296-43-2111 内線2634



「健幸都市しもつま」を目指して

「自然と歩いてしまおうまちづくり」

2013年の日本人の平均寿命は、女性が86・61歳で世界一。男性は80・21歳で初めて80歳を超えました。また、日常生活を制限なく生活できる期間を「健康寿命」といい、日本人の「健康寿命」は、男性71・19歳、女性74・21歳。2020年までに「健康寿命」を1歳伸ばすと、5兆円の経済効果が期待されると言われています。

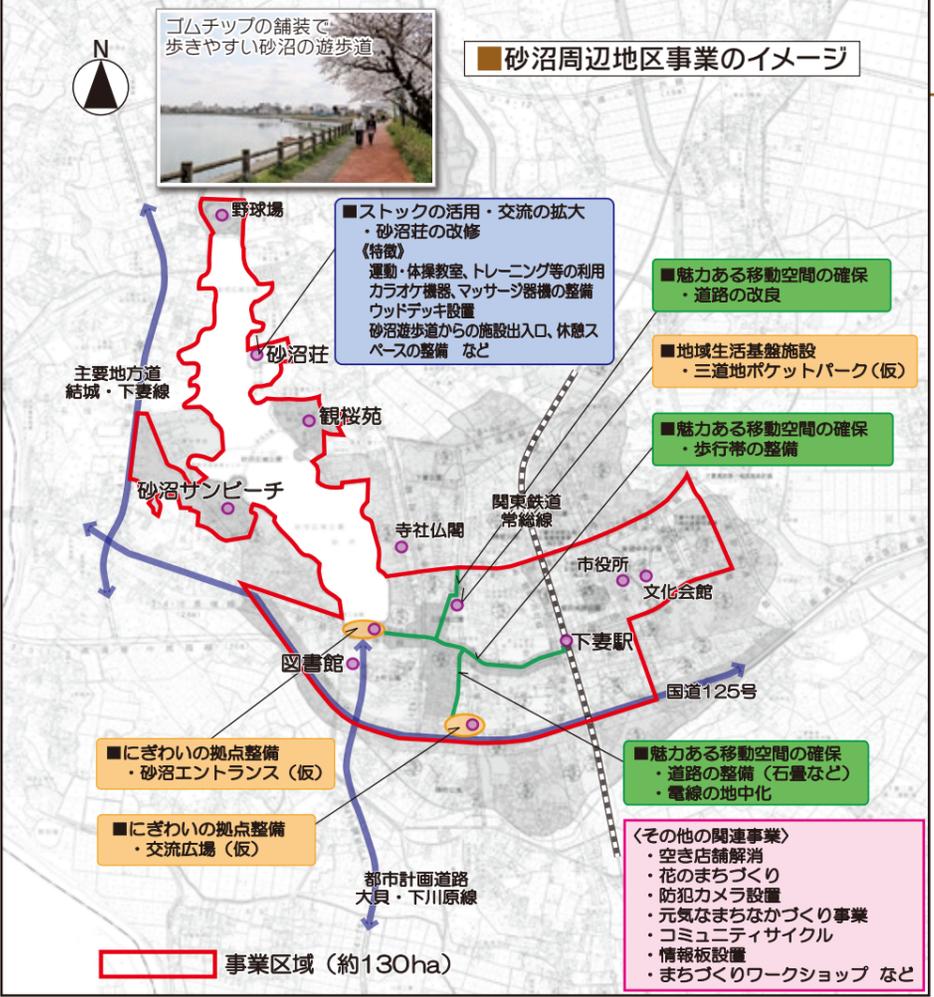
8月1日現在、市内には100歳以上の高齢者が30人。うち在宅者が15人で元気に生活しており、今年も「敬老の日」の前後に、稲葉市長が長寿祝いに100歳以上の高齢者宅などを訪問しました。

現在、市では「健幸都市しもつま」を目指し、はじめに砂沼周辺を、より活性化させるため、「人が歩いて元気になる」取り組みを進めているところです。

「健康寿命」を伸ばす

市では、「健康寿命」を伸ばし、市民一人一人が健康でいきいきと暮らせる「健幸都市しもつま」を目指しています。

「健幸都市しもつま」とは、健康施策とまちづくり施策を一体的に進めることにより、誰もが健康で幸せになれるまち「健幸都市」を創ろうという取り組みで、「歩く」ことで自然に健康になっていこうとするまちづくりです。



歩いて健康づくり「砂沼を中心とするまちづくり」

現在、砂沼周辺では、空洞化が進む中心市街地の活性化を図る「都市再生整備計画事業」で、砂沼南岸を拠点として街なかや道路整備、空き店舗対策などを一体的に進めている一方、砂沼東岸では健康基地として市民が親しみを持って利用できるよう「砂沼荘」の全面リニューアルを行っています。

砂沼は、全国数ある自治体の中でも、中心市街地に接した自然豊かなところで、周囲約6キロが遊歩道として整備され、「いばらきヘルスロード」にも指定されています。

こうした環境をより生かし、「人が歩くこと」「何となく歩きたい」を中心とした取り組みを入れ、街なかに人が集まり、歩くことでにぎわいづくりと、健康づくりを進めようとするものです。

ウォーキングは年齢に関係なくできる手軽な運動

いま、日本で問題になっている生活習慣病は、「不規則な食生活」「歩かない、身体を使わないこと」からくる運動不足、「喫煙」「酒の飲み過ぎ」「栄養が十分に取れない」などのバランスを欠いた生活を、長い期間にわたって続けてきたことが要因となっており、病気のひとつに、気軽に始められる運動の一つに、

「歩く」ことがあります。「歩く」ことで、生活習慣病などが起こりにくくなることから知られており、「健幸なまちづくり」を推進する筑波大学大学院人間総合科学研究科の久野譜也教授は、1万人が1日2,000歩の追加歩行をすることにより、年間4億円の医療費抑制効果が期待されると試算しています。

「歩く」ことを難しく考えるのではなく、時間があるときやなにか、体の状態などその時々で自分のライフスタイルに合わせて、少しずつでも歩いてみましょう。

「健幸まちづくり」による歩数増加による貢献

1万人が2,000歩/日の追加歩行により、
 $0.061円 \cdot 1歩 \times 2,000歩 \times 365日 \times 1万人$
= 4億円超・年間・1万人
 (筑波大学久野研究室のデータに基づき計算)

「健幸」への取り組みは全国規模で広がり始めています

最近、「健幸のまちづくり」は全国に広がっており、自治体ごとの新たな健康経営の取り組みが生まれています。(事例参照)

久野教授は「健康のために歩いていくわけではなく、自然と楽しく、街なかを歩いてしまっている。「歩いてしまおうまちづくり」が、これから

の高齢社会に重要になってくる」と話しています。

【事例1】新潟県見附市

筋力が低下している人の割合が、高いと分析され、症状改善につながるトレーニング施設を、市内17カ所設置した結果、施設でトレーニングを重ねた人の医療費は、トレーニングをしていない人に比べて、年間10万円も下がったことが分かっています。

【事例2】大阪府高石市

国民健康保険事業の累積赤字10億円を抱え、市は毎朝、ウォーキング教室を実施し、広い遊歩道も整備。ほかの地域よりも高くなっていた生活習慣病の割合が、運動不足の解消によって、今後どうなっていくか、データを取って効果を確かめながら、年間2億円の医療費削減を見込んでいます。

【事例3】新潟県三条市

三条市のある地区の1人当たりの年間医療費が、最も高い地区と比べて5万円も低いことを分析すると、高血圧や高血糖など、運動不足が原因とされる症状が少ないことが分かりました。この地区に運動不足の人が少ない要因は、江戸時代からの狭い路地が伸び、住民はクルマを使わず、歩いて移動することが当たり前となっていました。しかも路地は、歩くことによるようなにぎわいにあふれていました。

市でも、現在進めている「都市再生整備計画事業」における砂沼周辺の拠点整備を契機に、歩いて健康寿命を延ばす「健幸都市しもつま」の創造に向けて、新たな事業を展開していきます。

インタビュー

長寿100歳以上健康の秘訣は、「体を動かすこと」



飯塚せいさん (柳原)

自分で食べるものは、自分で料理します。体にどこも悪いところがなく、デイサービスで仲間にあつのが楽しみです。



穴戸カネさん (下妻丁・仲町)

入れ歯は無く、テレビを見るのが楽しみ。一つ、耳も目もよく、老眼鏡をかけたい。



中村長治さん (長塚)

毎週日曜日に、自転車で自宅からイオン下妻まで買い物に行くのが楽しみ。時に旧下館の中心商店街まで行くこともある。楽しみは将棋で、対戦相手がいなくなったので、新聞の将棋欄を見ながら楽しんでいきます。



山田もとさん (小野子町2丁目)

2階のベランダにある植物に、毎日1階から階段を上り、水をやるのが日課。三度の食事はおいしく食べ、肉は週に1回食べるようにして、野菜を多めに食べています。



飯田酉之助さん (原)

洋ランを育てるのが趣味。100歳から始めた旅行が好きで、今年10月に四国を旅行します。毎日規則正しい生活を送り、自分を含め家族の洋服をアイロンがけています。



栗島ユウさん (大木)

毎朝、草取りをして、三度の食事をおいしく食べています。とにかく体を動かすこと、午後7時には寝るようになっています。



福西基さん (下妻乙・陣屋)

歩くことが一番健康的。毎日、散歩を欠かさずやっています。



小林よし子さん (原)

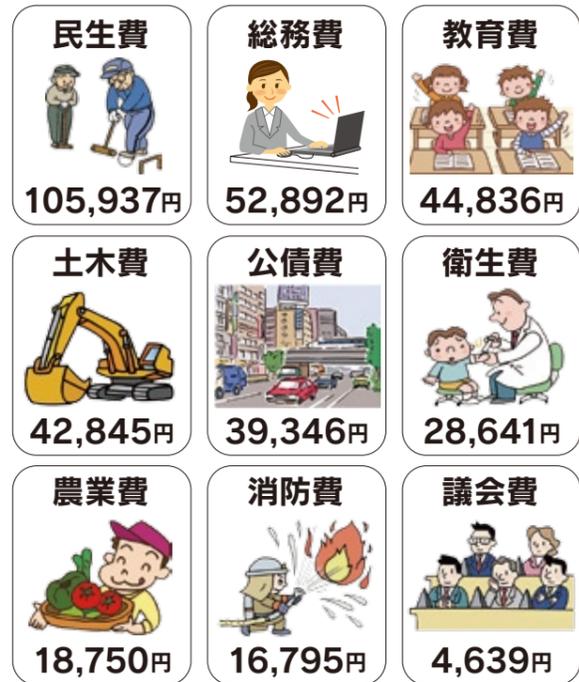
101歳までゲートボールをしていましたが、ベッドから落ちて骨折してしまいました。現在はリハビリを頑張っています。



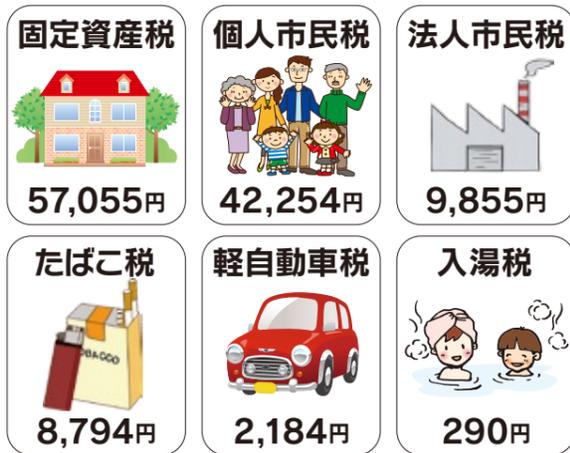
羽子田せんさん (羽子)

歌を歌うことが楽しみで、これが健康の秘訣です。

市民1人あたりに使われたお金
358,257円 (その他 3,577円含む)



市民1人あたりの市税
120,432円



※「市民1人あたり」は、平成26年3月31日現在の人口をもとに算出(住民基本台帳人数45,170人)
※入湯税は、ピアスパークしもつま及び道の駅しもつま維持管理基金と観光事業に使われています。

平成25年度決算 財政健全化指標等の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により、地方公共団体は「財政の健全性」を判断するための4つの「健全化判断比率」と公営企業会計の「資金不足比率」を算定し、公表することが義務付けられています。

平成25年度決算に基づき、これらの比率を算定した結果、いずれの比率も国が定めた基準を下回り、前年度よりも改善した結果となりました。今後も行財政改革などに取り組み、引き続き健全な財政運営を進めていきます。

①実質赤字比率 = 黒字

福祉・土木・教育などを行う一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示す比率で、算定の結果、黒字となり「-」と表示しています。

②連結実質赤字比率 = 黒字

特別会計や企業会計を含むすべての会計の赤字や黒字を合算して市全体としての赤字の程度を指標化し、市の財政運営の深刻度を示す比率で、算定の結果、黒字となり「-」と表示しています。

③実質公債費比率 = 12.9%

市の借入金の返済額及び、これに準ずる額の大さを指標化し、資金繰りの危険度を示す比率で、前年度から1.1ポイント改善しています。これは、水道事業会計への繰出金や下妻地方広域事務組合負担金の減少によるものです。

④将来負担比率 = 82.1%

市の借入金や将来支払わなければならない負担等の現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性を示す比率で、前年度から16.7ポイント改善しています。これは、充当可能財源とされる基金残高が増加したことなどによるものです。

⑤資金不足比率 = 資金不足なし

公営企業ごとの資金不足額が、事業規模に対してどの程度あるかを示す比率で、いずれの公営企業会計も資金不足が生じていないため、「-」と表示しています。

下妻市の健全化判断比率 (単位：%)

指標	平成25年度	平成24年度	早期健全化基準	財政再生基準
①実質赤字比率	-	-	13.28	20.00
②連結実質赤字比率	-	-	18.28	30.00
③実質公債費比率	12.9	14.0	25.0	35.0
④将来負担比率	82.1	98.8	350.0	

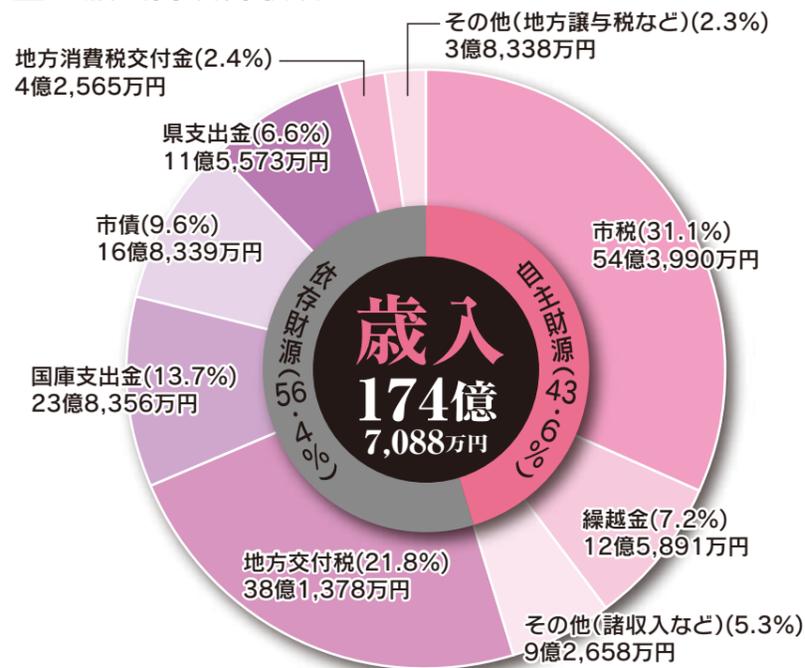
※「実質赤字比率」「連結赤字比率」は、赤字額がないため「-」と表示しています。

下妻市の資金不足比率 ※⑤ (単位：%)

会計名	平成25年度	平成24年度	経営健全化基準
水道事業会計	-	-	20.0
下水道事業特別会計	-	-	20.0

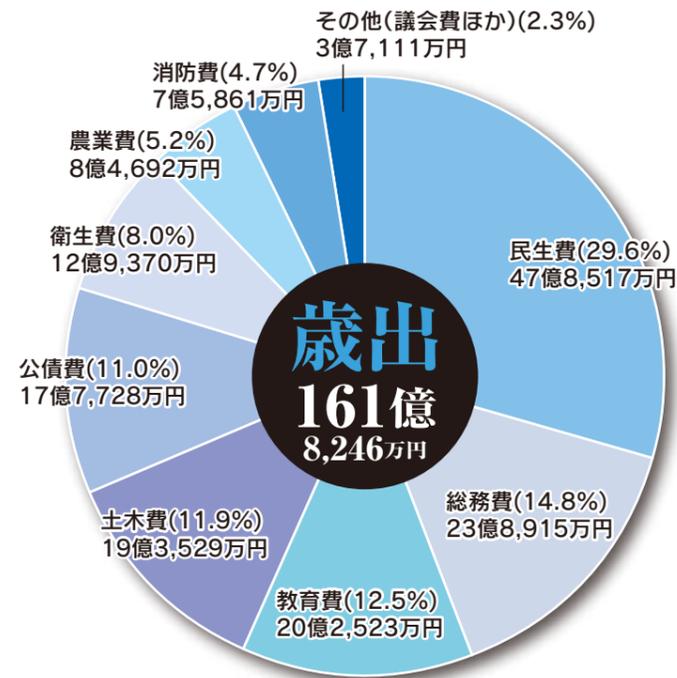
※各公営企業会計は、資金不足が生じていないため「-」と表示しています。

一般会計決算状況



平成25年度の決算が、9月の第3回市議会定例会で承認されました。一般会計の歳入総額は、174億7,088万円(前年度比2.7%増)で、歳出総額は161億8,246万円(前年度比2.7%増)となり、増収となりました。皆さんから納められた税金や国・県からの交付金・補助金などがどのように使われたのかをお知らせします。

決算報告 平成25年度



11億3,790万円の黒字決算

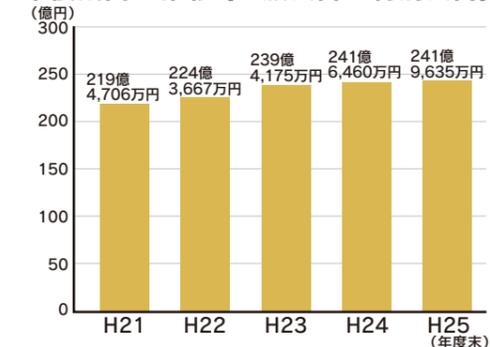
一般会計決算の歳入総額から歳出総額を差し引いた形式収支は12億8,842万円で、このうち翌年度(平成26年度)へ繰り越した事業に必要なお金1億5,052万円を差し引いた実質収支は11億3,790万円の黒字となりました。

一般会計	決算額
歳入 ①	174億7,088万円
歳出 ②	161億8,246万円
歳入歳出差引額 ①-②=③	12億8,842万円
翌年度へ繰越すべき財源 ④	1億5,052万円
実質収支額 ③-④	11億3,790万円

特別会計決算状況

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引残高
国民健康保険	58億9,010万円	54億5,698万円	4億3,312万円
後期高齢者医療	3億5,270万円	3億4,774万円	496万円
介護保険	30億5,275万円	29億9,022万円	6,253万円
介護サービス事業	963万円	582万円	381万円
下水道事業	7億7,203万円	7億5,323万円	1,880万円
砂沼サンビーチ	2億7,325万円	1億5,208万円	1億2,117万円

市債残高の推移(一般会計+特別会計)



最適な公共交通の実現を目指す 「下妻市地域公共交通活性化協議会」設立

市では、市民の生活に必要な交通手段の確保と地域全体の公共交通活性化を図るため、「下妻市地域公共交通活性化協議会」を設立し、第1回の会議を9月24日、市役所第二庁舎で開催しました。

協議会の委員は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」「道路運送法」に基づき、自治区長やまちづくり団体の代表などの市民をはじめ、鉄道やバス、タクシーなどの交通事業者、学識経験者、関係行政機関の職員など24名で組織。会長に野中周一副市長、副会長に筑波大学社会工学類准教授の岡本直久氏が選出されました。

今回の会議では、協議会の規約や予算が協議されたほか、今後のスケジュールとして、平成27年度に地域公共交通網に係る計画を策定し、平成28年度から新たな公共交通の運行開始を目指すことなどを確認しました。

今後は、本年3月に満18歳以上の市民2,000人を対象に実施した「下妻市地域公共交通体系計画の基礎的調査」の結果を基に、市にとって最適な公共交通の実現に向けた議論が進められます。



市にとって最適な公共交通の実現に向けて議論がスタートしました

「下妻の梨」をマレーシアでPR・商談

「下妻の梨」の販売輸出を本格化させようと、タイをはじめ海外でのPR・商談に臨む下妻市果樹組合連合会、JA常総ひかり、下妻市は9月11日、日本貿易振興機構（JETRO）クアラルンプール事務所が主催する「日本産農水産物・食品輸出商談会inマレーシア2014」に参加しました。クアラルンプール中心部のホテルで行われた商談会には、日本各地から21社が参加。マレーシアからは卸しや小売り、レストランなど45社が参加して商談が行われました。

「下妻の梨」商談ブースには、空輸で持ち込んだ豊水、あきづきを並べ、試食を通じて甘みとみずみずしさの特徴をアピール。商談に臨んだJA常総ひかり下妻地区センター営業課の上野博樹課長からは「収穫後に摂氏2度で保存する『貯蔵梨』は、1～2月の旧正月（春節）まで品質を保持することが可能で、マレーシアでも日本食への人気が高いことから、ジャパンブランドの質の高い梨を売り込んでいきたい」と意気込みが聞かれました。

一方で、マレーシアのバイヤーからは、「価格をどう抑えるかが課題」との声があり、今後は輸送方法も含めた価格調整が課題とされましたが、帰国後も商談した中の12業者と連絡をとっており、引き続きPR等を行い、地道に販売輸出の実現を目指しています。



バイヤーに下妻の梨の品質の高さを示しながら商談に臨むJA職員と生産者



「株式会社ふれあい下妻」の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの経営状況（第16期）を公表します。

平成25年度は、円安や相場変動に伴う急激な燃料や原材料価格の上昇、電気料金の値上げなど、厳しい経営の中、経営基盤の強化、既存事業の強化・拡大、収益性の向上に注力し、各種事業に取り組みましたが、売上高は、前年比4.48%減の約7億7,740万円となりました。

道の駅しもつま

販売促進として、各種メディアによる情報発信やイベントの充実など、新規来場者とリピーターの確保に努めましたが、昨年に引き続き厳しい経営環境となっています。

売上高は、前期比3.38%減の約5億900万円となっています。

また、道の駅利用者数は、前期比0.27%減の約61万5,000人となっています。

ピアスパークしもつま

集客力の向上を図るため、農作物のロビー直売所設置、歌謡ショーの開催、変わり湯の実施などに取り組むとともに、地ビールのノンアルコール商品の開発販売、季節の地元食材を活かした料理への切り替えなどを行いましたが、売上高は、前期比5.71%減の約2億6,700万円となっています。

また、温泉入場者数は、前期比3.26%減の約15万9,000人となっています。

入湯税約1,311万円を市に納付

「株式会社ふれあい下妻」から、入湯税13,118,400円が市に納付されています。

「株式会社ふれあい下妻」に市が補助金を支出

「株式会社ふれあい下妻」は、温泉など競合施設のオープン、東日本大震災による大幅な集客の低下など、厳しい経営状況が続いており、当期利益は5期連続の赤字となり、本年8月には4,200万円余りの未払金が生じました。

市では、これまで「株式会社ふれあい下妻」から市に収められた積立基金に相当する額8,000万円を補助金として支出し、未払金の支払い及び平成26年度末までに想定される不足額に充当し、経営の健全化を図ることとしました。

今後、さらなる経費削減を図るとともに、集客力の向上を目指し、経営改善に取り組むよう「株式会社ふれあい下妻」に要請していきます。

経営状況の推移

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	前期比較
売上高	8億1,376万円	8億1,390万円	7億7,740万円	△3,650万円
道の駅	5億5,221万円	5億2,993万円	5億 966万円	△2,027万円
ピアスパーク	2億6,155万円	2億8,396万円	2億6,774万円	△1,622万円
税引前当期利益	△4,747万円	△6,367万円	△2,694万円	3,673万円
道の駅利用者	62万2,309人	61万7,581人	61万5,925人	△1,656人
温泉入場者	16万2,927人	16万5,309人	15万9,924人	△5,385人

有料広告欄

瑞宝双光章
(高齢者叙勲)

綱川 駿也さん

元八千代町立
中結城小学校長
(88歳・江)

受章者紹介



昭和24年に東京第三師範学校本科を卒業し、関本町立関本中学校に赴任されて以来、旧真壁郡、結城市、旧結城郡内の小中学校に勤務。昭和58年に結城市立上山川小学校の校長に就任し、昭和62年に八千代町立中結城小学校の校長として退職まで38年間の教職を務められました。「皆さまのご協力に心より感謝いたします」。

教育委員の任命



石濱 義則さん
(高道祖)

石濱義則さん（高道祖）が、第3回市議会定例会で同意を得て、教育委員会委員に任命されました。任期は、平成26年10月2日から平成30年10月1日までの4年間です。

石濱さんは、下妻市職員として長年にわたり教育行政を経験され、また退職後は保護司として更生支援活動

に尽力されるなど、その豊富な経験と見識で、下妻市の教育の振興、文化の向上のために活躍が期待されます。



息の合ったコーラスを披露する参加者たち

敬老の日にちなみ、市内の高齢者が一堂に会し、日ごろ親しんでいる歌や踊りなどを披露・鑑賞し合うことで、楽しみながら親睦を深める「第44回下妻市敬老福祉大会」が9月14日、市民文化会館で開催されました。

大会では、歌や踊りなど36演目もの芸能発表に、市内各地区から元気な高齢者563名が集まりました。合唱団のコール・フレンズ小野子が、復興支援ソングの「花は咲く」を合唱すると、観客席からも一緒に歌う声が聞こえてくるなど、ステージと観客席が一体となる場面が多く見受けられました。

合唱の発表を終えた70代の女性は「4月から月2回の練習でしたが、みんなでうまく歌えてよかった」と話が聞けました。

第44回下妻市敬老福祉大会

ともに長寿を祝い交流を深める

インド・ミゾラム州から来日した農業関連の研修生など15名が8月27日、「道の駅しもつま」の農産物直売所や納豆工場などを視察しました。

ミゾラム州域は山間部が大半を占め、交通が不便なことから、日本の「道の駅」のような地域の拠点となる施設をつくり、地元農産物や特産品の販売、情報発信の拠点として地域の発展につなげることを視野に、「道の駅しもつま」の施設や運営等を参考にしようと訪れました。

研修生からは、市場流通と直売所流通の違いや食品の衛生管理に関する質問が次々と出され、大塚駅長や市職員が熱心に対応していました。



野菜を手にとって鮮度などを確認するインドの研修生

インドでも「道の駅」をつくりたい

インド・ミゾラム州から農業関連研修生が「道の駅しもつま」を視察



豊やたいまつを持った白装束姿の若者が境内を走り回る

火の粉を浴びると火の災いを退けるといわれる炎の奇祭「タバンカ祭」が9月12日と14日、大宝八幡宮で行われました。境内には市内外からの参拝客やアマチュアカメラマンが集まり、豊やたいまつを持った白装束の若者が走り回ると、子どもたちは歓声をあげながら逃げ回っていました。

この祭りは、約640年前に敷地内で起きた火災を豊と鍋蓋で消し止めたという故事を戯曲化した祭りとして受け継がれています。

笠間市から訪れた60代の女性は「火が近いので怖いけど、なぜか引き込まれる祭りですね」と興奮気味に話してくれました。

炎の舞い、荒々しく

大宝八幡宮の火祭り「タバンカ祭」



収穫の秋を迎え、今年も豊作となった下妻の米。収穫したばかりの下妻産新米を食卓に届けようと市内大園木の「やすらぎの里しもつま」で9月20日と21日、「下妻産新米まつり」が開催されました。主催は、地域ブランド米の確立を目指すJA常総ひかりと下妻市担い手育成総合支援協議会。

会場では、「コシヒカリ」と「ミルクQueen」の炊きたてがそれぞれ試食で提供され、食べ比べた新米が、その場で1キロ単位の希望量で買えるとあって「つきたて販売」が人気を集めていました。新米ボン菓子の無料配布や大抽選会も行われ、市内外から訪れた多数の家族連れなどでにぎわいました。

埼玉県羽生市から夫婦で訪れた60代の女性は「普段は埼玉のお米を食べているけど、下妻産のお米は香りがよく、美味しいですね」と話が聞けました。

下妻の新米、召し上がれ

下妻産新米まつり



下妻産の新米を試食する来場者

活気に満ちた茨城の創造を目指して

日本青年会議所第43回茨城ブロック大会 集まれ! IBARAKI POWAR! みんなで“輪っしょい”

日本青年会議所関東地区茨城ブロック協議会は9月15日、市民文化会館、下妻公民館、総合体育館の3施設を会場に「第43回茨城ブロック大会」を開催しました。

3つのフォーラムが同時に開催された午前の部では、防衛庁長官や農林水産大臣を務めた玉澤徳一郎氏による「意気あふれる人材」についての講演後に、稲葉本治・下妻市長や杉田周平・茨城ブロック協議会長がパネラーとして加わり、「活気あふれる未来」を題材にディスカッションなどが行われました。

また、午後のメインフォーラムでは、アテネ五輪と北京五輪野球の日本代表キャプテンを務めた元プロ野球選手の宮本慎也氏が講師のトークショーに青年会議所メンバーのほか、近隣から少年野球の選手や関係者など約500人が参加しました。

司会者から「国際舞台で活躍するためには何が必要か」の問いに、「一流選手ほど、健康管理や試合に臨む際に準備に余念がない」などと答えた宮本選手。トークショーに参加した少年野球の選手たちには、バッティングや守備のワンポイント指導を行い、野球を楽しむこと、特にキャッチボールの大切さを熱く伝えていました。

最後には、宮本選手のサイン入りグッズが当たる抽選会が行われ、当選の座席番号が呼び上げるたびに、会場からは歓喜の声があがっていました。



活気ある未来や人材について熱く語るパネラー (左から玉澤氏、稲葉市長、杉田会長)



宮本氏の熱心なバッティング指導に真剣な表情の少年野球選手



オスマン・サンコン氏による講演では、もったいない精神などの日本の美德が伝えられました



稲葉市長に今シーズンの活躍を誓う「つくばロボッツ」 (左から古原社長、稲葉市長、木村選手)

平成25年7月につくば市に誕生した日本の男子プロバスケットチーム「つくばロボッツ」の古原賢治社長と同チームで活躍する下妻市出身の木村蓮選手(下妻乙・本宿、22歳)が9月22日、稲葉市長を表敬訪問しました。

古原社長は「2020年の東京オリンピックを目指す子どもたちに本物のプレーを見てほしい。子どもたちへの出張クリニックなど地域に密着した活動や茨城代表として茨城ブランド向上に貢献していきたい」などと今シーズンの活躍を誓いました。

「ホームのつくばカピオの試合では、観客席を満員にして、スピードあるプレーで観客を魅了したい」と抱負を語る木村選手に、稲葉市長は「下妻を宣伝するプレーヤーとして頑張ってください」と激励しました。

プロバスケットで茨城を盛り上げます

男子プロバスケットチーム「つくばロボッツ」表敬訪問

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄

有料広告欄



フォトレポート

2014 秋の大運動会

9月13日に各中学校、27日には6校の小学校（下妻小学校・上妻小学校・高道祖小学校は5月に開催）で、秋の大運動会が開催されました。

両日ともに秋晴れに恵まれ、団体競技では競技に集中するあまり、勝敗が決まると悔し涙を流す子どもたちの姿も見られました。子どもたちの応援や歓声が青空高く響きわたりました。

有料広告欄



正しいルールで、安全第一！

秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン

9月19日、午前7時30分から市内本宿交差点と宗道交差点の2箇所で、交通安全運動の街頭キャンペーンが行われました。

この街頭キャンペーンは、9月21～30日の10日間、秋の全国交通安全運動が実施されることに先立ち行われたもので、下妻警察署の協力のもと、市内交通団体等の関係者約80名と下妻一高野球部員26名が通勤するドライバーに交通安全グッズを手渡ししながら、交通安全を呼び掛けました。

下妻一高2年生で野球部主将を務める泉邦明さんからは「交通安全運動を通して改めて交通安全の大切さを見直していきたい」との決意表明がありました。



通勤ドライバーに交通安全を呼び掛けました



子どもたちに “物を大切にできる心”を伝えたい

「下妻おもちゃ病院」の活動は、思い出の詰まった壊れたおもちゃを直すことで、子どもたちに“物を大切にできる心”を伝えたいと思い、平成24年5月から始めました。ドクターごとに電気工作や木工工作、さらに裁縫作業などそれぞれ得意な作業があるので、お互い協力して治療にあたっています。

8月19日、下妻駅近くの栗山商店街の中にあるコミュニティカフェ・ぷらっとほーむにて、夏休みの子どもたちの思い出作りイベント「木工工作教室」を手探りの中、ドクター仲間5人と子どもたち8人の合計13人で、「鉛筆立て・車のおもちゃ」をつくることにチャレンジしました。

電動ドリルやインパクトドライバーなど、初めて触る道具に子どもたちは、最初はおっかなびっくりで、ドクターの補助が必要でしたが、徐々に慣れてくると一人で作業できるようになってきました。中には、予定時間を超えても「まだ作業したい」と言い出す子どももいました。そこにはみんなの笑顔があり、このイベントを企画して良かったと思った瞬間でした。

ボランティア団体「下妻おもちゃ病院」の院長として活動する海老澤修一さん(若柳)からの便りを紹介します。

「下妻おもちゃ病院」は、毎月第2・第4の月曜日に、下妻ボランティアセンター（下妻市社会福祉協議会事務所の向かい）にて活動しています。壊れたおもちゃは、下妻社会福祉協議会でも受付してくれます。また、一緒に活動していただけるドクターも募集中です。これからも、子どもたちの笑顔を励みに、自分たちも楽しみながら、息の長い活動にしていきたいと思います。



完成した作品を手に喜ぶ子どもたちと一緒に（海老澤院長：2列目左から1番目）

有料広告欄

わがやの にんぎもの

このコーナーでは、市内在住の1～3歳までのお子さんの写真に、お父さん・お母さんのコメントをつけて紹介しています。誕生日など、思い出の1ページとしていかがですか？ご希望の方は、【秘書課・広報広聴係 ☎内線1212】までご連絡ください。



かず き 程山 一輝 ちゃん

賢一・彩さんの長男 鬼怒

もうすぐ2歳になる、ママっ子のわんぱく息子です。車のおもちゃ、押し車とタイヤのある物が大好きです。4歳上のお姉ちゃんとも仲良しで、2人で遊ぶ姿を見るとうれしそうですね。大きくなったら、何になるのかな～？楽しみです。



あ ゆ は 小林 愛友羽 ちゃん

希代江さんの長女 平方

「アンパンマン」と「しまじろう」が大好きで、毎日うれしそうに何度もDVDを見ています。歌も大好きでいつも色んな歌を身体でリズムをとりながら歌ってくれます。可愛らしいその姿を見ると疲れも一瞬で吹き飛んでしまいます。これからもいっぱい、いろいろな歌をきかせてね。



れ お な 小島 麗央奈 ちゃん

博幸・智美さんの二女 下木戸

8月に3歳の誕生日を迎えた二女の麗央奈。小学1年生の姉・雪貴奈と一緒に歌って踊ることが、とっても大好き！持ち前のコミカルな仕草でみんなを一瞬で笑顔にしてくれます。いっぱい笑って、いっぱい泣いて、ゆっくり大きくなってね！キラキラ笑顔の2人は、パパとママの宝物。



口頭詩

子どもの純粋な心のつぶやき



てっぼうつか やまと

4歳11か月 (騰波ノ江幼稚園)

おつきさま
ママー みてー
おつきさまだよ
くらくなつたから
でんきつけたんだねー
やまとのおうちと
いっしょだね

【解説】
夜、たまたまへら
ンダから満月を見せ
たときに言った言葉
です。夜空のきれいな
黄色に光る月を、
家の電気と同じよう
に考える息子の言葉
に心が温まりました。
採集母 鉄砲塚順子

大宝幼稚園

秋のおやま



◀年長、年少の皆さん



園庭でどんぐり拾いや葉っぱ遊び。子どもたちは、秋の自然の中で元気に遊んでいます。園庭前に広がる三吉山にも秋が訪れ、少しずつ紅葉してきました。「お部屋の山も夏から秋に変身させよう！」と壁面制作が始まり、「りんごや栗の木も作ろうよ」「きのこも作りたいね」など次々とアイデアを言い合う子どもたち。園庭も部屋も秋でいっぱいです。



わたしから あなたへ

さわやか
リレー
vol.105

前回登場の山崎明正さんからの紹介



かず のり 渡邊 和則 さん(石の宮)

病からの気づき

私が心筋梗塞に見舞われ、約二年が経とうとしています。まさか自分がこのような病気に遭うとは思っていませんでした。突然の激痛と吐き気に見舞われ、救急車で病院に運ばれた時、私の頭の中で悪い予感がよぎったことを覚えていて、運が良かったのだと思います。運が良いことに一命を取り留めることができた。運の悪い人は命を奪われている人もたくさんいます。その中の多くの病は、がん・心臓病・脳卒中等があります。原因は数多くある中で、食生活、運動不足、そして、ストレスが大半を占めているのですが、特にストレスからの生活の乱れが重なり合っ

有料広告欄

俳句

市民文芸

伏してなほ影揺れやまず萩の花
担ぎ臍固まりしまま生身魂
笑点の終れば戻る端居かな

染野 清平(皆葉)
鈴木 素香(下妻丁)
蓑毛 長重(大木)

短歌

若き日に読みて古びし藤村の
「破戒」は今も懐かしくあり
「見て見て」と幼は瞳かがやかせ
夕空高くしゃぼん玉ふく
久びさに孫からメール送られて
「きゅうり漬けたよおいしかった」と
夜明け前静寂をやぶり数台の
バイクは爆音立てはしりゆく
道をゆずる我に自転車少年は
声太ぶとオッスと言へり
歩きたる道をふさぎぬ葛の葉は
道路の上に這い上り来る
見上げれば高く清しき朝の雲
彼のごとくに生きたし我も
夏の夜大輪の花次つぎと
咲かせては消ゆる砂沼の花火
夕風に今を盛りのさるすべり
舞ふがごとくに止まず揺れふる

飯村八重子(半谷)
伊東 豊乃(加養)
稲葉 節子(加養)
神郡 亜佐(高道祖)
高橋 京子(坂本新田)
吉原 眞子(高道祖)
倉田 淑子(原)
小竹八重子(五箇)
小林美智雄(唐崎)

有料広告欄

相談ごと

◆行政相談

日時 11月14日(金)午後1時30分～3時30分
場所 千代川公民館 1階 小会議室
日時 11月14日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 1階 和室
問合せ 秘書課 ☎内線1212

◆人権相談

日時 11月14日(金)午後1時30分～3時30分
場所 下妻公民館 2階 小会議室
問合せ 人権推進室 ☎内線1583

◆こころの健康相談

日時 11月12日(水)・26日(水)
午後1時～4時(予約制)
場所 市役所第二庁舎 3階 小会議室
問合せ 福祉課 ☎内線1573

◆消費生活相談

日時 月・火・木・金曜日(毎週)
午前9時～12時 午後1時～4時30分
日曜日(11月9日・30日)
午前9時～12時
場所 下妻市消費生活センター(千代川庁舎内)
問合せ 下妻市消費生活センター ☎44-8632

◆納税相談

・夜間納税相談
日時 11月6日(木)午後5時30分～7時30分
・休日納税相談
日時 11月30日(日)午前8時30分～午後5時
場所 市役所本庁舎 1階 収納課
問合せ 収納課 ☎内線1363～1366

◆法律相談

日時 11月11日(火)・18日(火)・25日(火)
午後1時30分～3時30分
※事前に予約が必要です(当日不可)
場所 市役所第二庁舎 3階 中会議室
問合せ 下妻市社会福祉協議会 ☎44-0142

人口と世帯

10月1日現在の常住人口

	前月比	前年比
人口	43,511人 (-4)	(-318)
男	21,790人 (+6)	(-133)
女	21,721人 (-10)	(-185)
世帯数	15,203世帯 (+16)	(+124)

☎ テレホンサービス

◆火災・災害のとき ☎0296-44-3111
◆市役所などの行事・催物 ☎0296-43-4000

健康カレンダー Health Calendar 11月1日～11月30日

11/1 土		小 西南
2 日	在 平間病院	小 友愛
3 月	在 中岫産婦人科医院	小 西南
4 火	元気アップ教室 (9:15～10:00)	小 西南
5 水		小 西南
6 木	遊びの広場 (10:00～10:30) すくすく相談 (13:30～)	小 西南
7 金	ぴよぴよ教室 (10:00～10:30) 5か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
8 土		小 西南
9 日	在 砂沼湖畔クリニック	小 西南
10 月		小 西南
11 火	2歳児歯科健診 (13:15～13:30)	小 西南
12 水		小 西南
13 木	カミカミ離乳食教室 (13:15～13:30)	小 西南
14 金	子宮がん検診 下妻保健センター (12:50～13:20)	小 古河
15 土		小 西南
16 日	在 渡辺クリニック	小 西南
17 月	子宮がん・骨粗検診 下妻保健センター (12:50～13:20)	小 西南
18 火	子宮がん検診 下妻保健センター (12:50～13:20)	小 西南
19 水	子宮がん検診 下妻保健センター (12:50～13:20)	小 友愛
20 木	子宮がん検診 下妻保健センター (12:50～13:20)	小 西南
21 金		小 古河
22 土		小 西南
23 日	在 宇津野医院	小 友愛
24 月	在 菊山胃腸科外科医院	小 西南
25 火		小 西南
26 水	後期マタニティクラス (13:15～13:30) ママサロン (13:30～15:30)	小 西南
27 木	キッズくらぶ(親子リトミック) (10:00～10:30) 3歳児健診 (13:15～13:30)	小 西南
28 金	1歳6か月児健診 (13:15～13:30)	小 古河
29 土	特定健診(基本健診) 下妻保健センター (9:30～11:30、13:30～15:00)	小 西南
30 日	中山医院	小 西南

在 休日在宅当番医 午前9時30分～午後4時

平間病院 ☎43-5100 宇津野医院 ☎45-0311
中岫産婦人科医院 ☎44-2438 菊山胃腸科外科医院 ☎44-2014
砂沼湖畔クリニック ☎43-8181 中山医院 ☎43-2512
渡辺クリニック ☎43-7773

🌙 夜間応急診療所 保健センター内 ☎43-1990

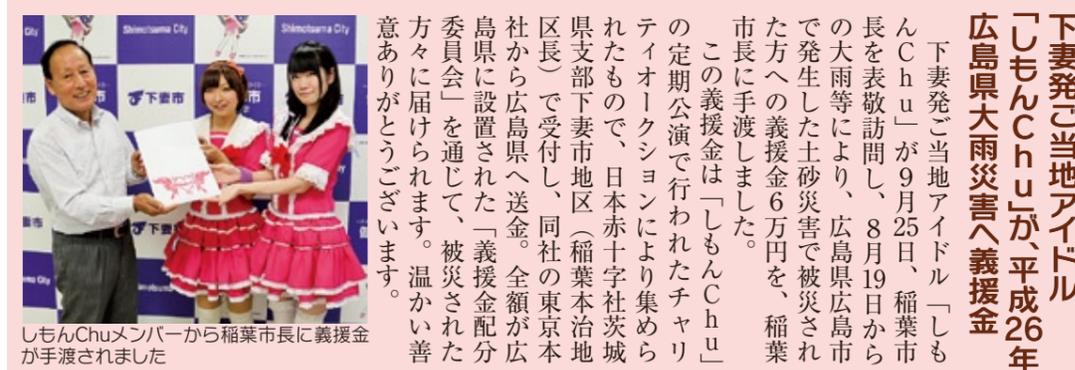
土・日・祝日(1月1日を除く):午後7時～翌朝7時

👶 小児救急当番医

月・火・水・木・金・土曜日:午後6時～午後11時
日曜・祝日:午前9時～午後4時

小児輪番病院は、入院治療を必要とする子供の救急医療を行っています。受診される際は、医療機関に必ず事前に電話でご相談ください。
・西南…茨城西南医療センター病院(境町2190) ☎0280-87-8111
・友愛…友愛記念病院(古河市東牛谷707) ☎0280-97-3000
・古河…古河赤十字病院(古河市下山町1150) ☎0280-23-7111

人事異動
10月1日付で人事異動を発令しました。
部長級
神郡 健夫 建設部長兼建設課長



しもんChuメンバーから稲葉市長に義援金が手渡されました

下妻発ご当地アイドル「しもんChu」が、平成26年広島県大雨災害へ義援金

下妻発ご当地アイドル「しもんChu」が9月25日、稲葉市長を表敬訪問し、8月19日からの大雨等により、広島県広島市で発生した土砂災害で被災された方への義援金6万円を、稲葉市長に手渡しました。
この義援金は「しもんChu」の定期公演で行われたチャリティオークションにより集められたもので、日本赤十字社茨城県支部下妻市地区(稲葉本治地区長)で受付し、同社の東京本社から広島県へ送金。全額が広島県に設置された「義援金配分委員会」を通じて、被災された方々に届けられます。温かい善意ありがとうございます。

ふるさと博物館企画展



「小学国語読本」 昭和8年

「通信簿」 大正7年

学校のたからもの

～学び舎の思い出～

シリーズ3

蚕飼小学校・宗道小学校・大形小学校

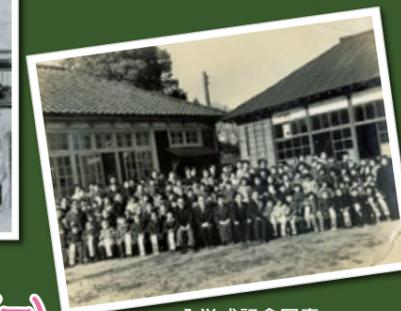
音楽発表会(音楽室竣工式) 昭和33年 蚕飼小学校



プールの授業 昭和34年 宗道小学校



日米親善「青い目の人形」歓迎会 昭和2年 宗道小学校



入学式記念写真 昭和30年 大形小学校

平成26年 11月15日(土)～11月30日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分 休館日 11月17日(月)・25日(火)

入館料 一般200円(160円)・児童生徒100円(80円)

()内は15人以上の団体料金 *65歳以上、小学生未満は無料

下妻市ふるさと博物館

下妻市長塚77番地(ピアスパーク手前) TEL0296-44-7111



有料広告欄